



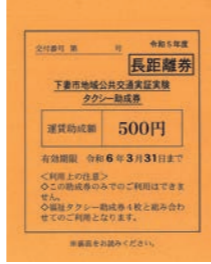
長距離専用タクシー助成券による公共交通実証実験を実施します

問 企画課

福祉タクシー助成制度の改正によるサービスの拡充、および長距離専用タクシー助成券(長距離券)の配布による公共交通実証実験を行います。新しくなった福祉タクシー助成券をぜひご利用ください。

公共交通実証実験について

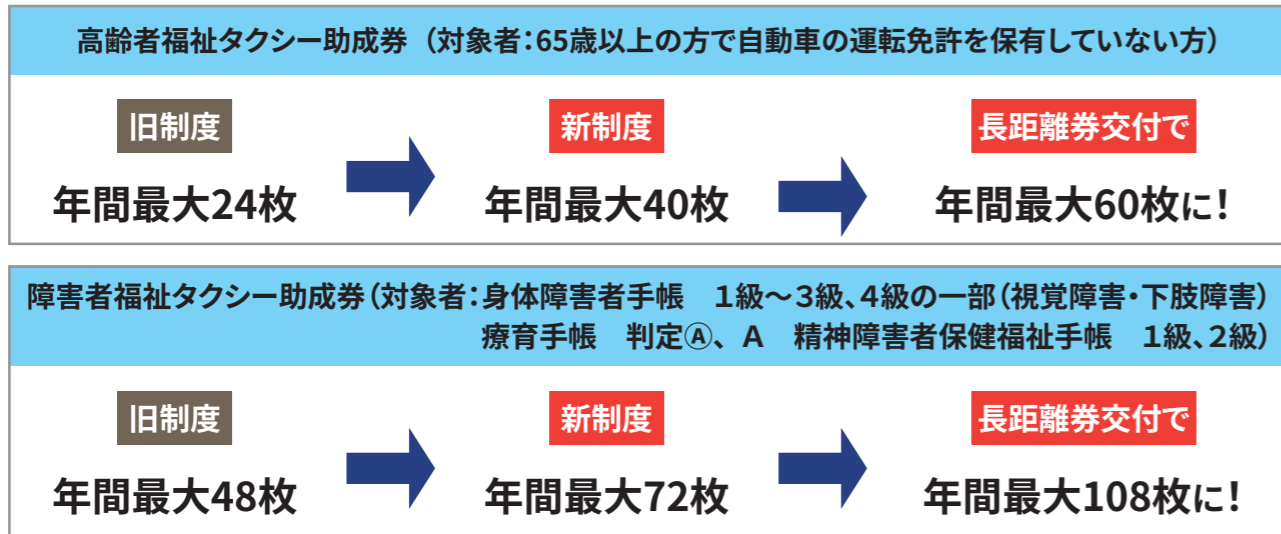
令和5年度から2年間の実証実験として、利用者の長距離移動を支援します。長距離券は福祉タクシー助成券に追加で2枚まで使用することができ、福祉タクシー助成券と併せて最大約9キロの移動が可能となります。



- 実証実験期間：令和5年4月1日～令和7年3月31日(予定)
- 対象者：高齢者福祉タクシー助成券および障害者福祉タクシー助成券の交付対象者

福祉タクシー助成制度の拡充について

令和5年4月から各助成券の年間最大交付枚数が拡充されます。



- 助成額：500円/助成券1枚
- 1回あたりの使用枚数：4枚まで(公共交通実証実験期間中は+長距離券2枚)
- 自動車税または軽自動車税の減免を受けている方は対象になりません
- ※長距離券の使用方法等、詳しくは交付時にお渡しする福祉タクシーの案内チラシをご覧ください。

環境にやさしい電気自動車を導入しました

問 資産経営課

市では、「ゼロカーボンシティ宣言」による脱炭素社会の実現と、SDGs達成に向けた取り組みの一環として、令和5年3月に電気自動車(EV)2台を公用車として導入しました。

電気自動車は、ガソリンを使用せずバッテリーに蓄えられた電気でモーターを動かし、走行する車です。走行中に二酸化炭素が発生しないので、環境負荷の低減に貢献する車とされています。市は、環境にやさしい電気自動車を積極的に利用していくとともに、脱炭素社会の実現、SDGs達成に向けて、今後も取り組みを続けていきます。



令和5年度 下妻市の予算

当初予算総額 304億4,465万円

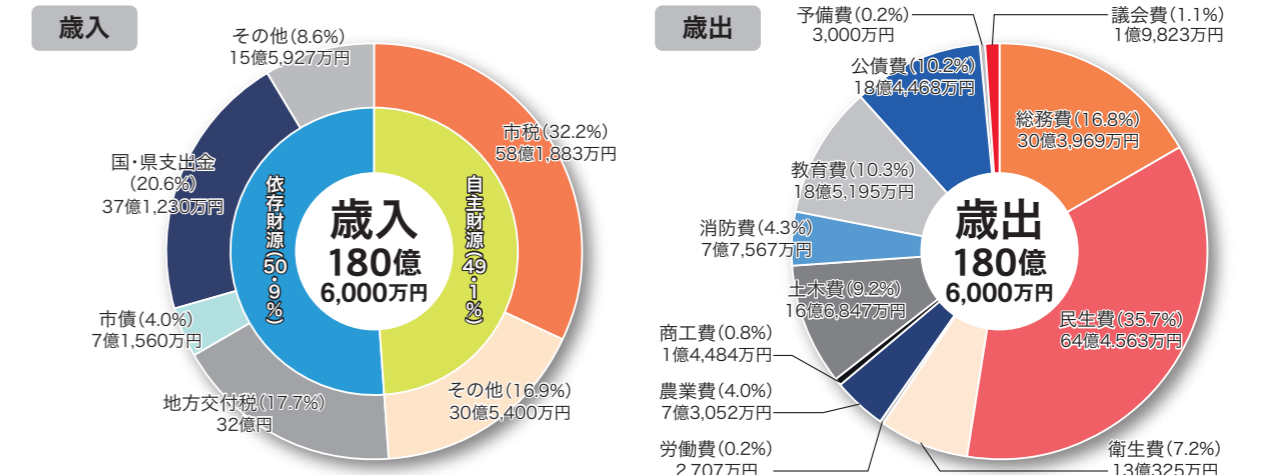
令和5年第1回下妻市議会定例会で、下妻市の令和5年度当初予算が決まりました。一般会計の予算額は180億6,000万円で、前年比8.0%の減。特別会計と公営企業会計を合わせた予算の総額は304億4,465万円で前年比7.3%の減となっています。

問 財政課

令和5年度会計別予算

区分	今年度予算額	前年度予算額	増減率(%)	
一般会計(1)	180億6,000万円	196億2,000万円	△8.0	
特別会計	国民健康保険	49億1,100万円	47億9,400万円	2.4
	後期高齢者医療	5億5,400万円	5億3,600万円	3.4
	介護保険	39億3,600万円	40億500万円	△1.7
	介護サービス事業	900万円	750万円	20.0
	計(2)	94億1,000万円	93億4,250万円	0.7
企業会計	水道事業	14億7,602万円	23億1,637万円	△36.3
	下水道事業	14億9,863万円	15億6,742万円	△4.4
	計(3)	29億7,465万円	38億8,379万円	△23.4
合計(1)+(2)+(3)	304億4,465万円	328億4,629万円	△7.3	

一般会計歳入歳出構成図



用語説明

歳入	歳出
●自主財源	議会費 議員の報酬や議会の運営など
市税 市民の方から市に納めていただく税金	総務費 市政全般の管理など
その他の自主財源 分担金、負担金、使用料、手数料、繰入金、財産収入、寄附金、繰越金、諸収入など	民生費 高齢者・障害児者・児童などの福祉、保育所など
●依存財源	衛生費 健診や予防接種、ゴミ処理など
地方交付税 国が集めた税金から、全国の地方自治体が一定水準の行政サービスを提供できるように財政力の低い団体に交付されるお金	労働費 労働者のための施設の設置管理など
国県支出金 特定の目的のため、国や県から交付されるお金	農業費 農林業の振興、農道整備など
市債 特定の目的のため、国や銀行から借入れるお金	商工費 商工業の振興や観光推進など
その他の依存財源 地方譲与税、地方消費税交付金、地方特例交付金、利子割・配当割交付金、交通安全対策特別交付金、株式等譲渡所得割交付金など	土木費 道路・河川・住宅・公園などの公共施設の整備など
	消費費 火災や地震、風水害対策や消防施設など
	教育費 学校や体育施設の管理、生涯学習、文化財保護など
	災害復旧費 災害により被災した道路や施設の復旧など
	公債費 市債の返済金
	予備費 緊急に支出を要する場合に備えるお金

※詳しくは『予算特集号(5月10日発行予定)』に掲載予定です。